

花だより

第100号 新春刊



題字／森屋朝子様 91歳
(昭和4年1月11日生 仲間の家)
2021年(令和3年)1月1日発行

新年明けまして
おめでとうございます！

皆様には、新春を健やかに迎
えられたことと、お慶び申し上
げます。また、旧年中はひとか
たならぬご厚情をいただきあり
がとうございます。

昨年は3月に中国武漢市から
発生した原因不明の肺炎「新型
コロナウイルス感染症」の猛威
が世界にひろがり、感染症の拡
大で東京五輪・パラリンピック
の延期が決定されました。

緊急事態宣言がなされ不要不
急の外出自粛の要請、街中の人
通りも少なくなり、異様な状態
がいつまで続くかわからないよ
うな不安な日々になりました。

多くの人々の生活は一変し、
企業はコロナ対策を行いつつ事
業展開しなければならなくなり

ました。恵比寿会でもスタッ
フの状況に応じて勤務や通勤の方
法を変更しました。ご入居者と
の面会を自粛していただき、オ
ンライン面会に変更いただきまし
た。ご入居者、ご家族には現在
でもご不自由をおかけしており
ます。

一方で、新型コロナウイルス
感染症で自粛の日々を送ったこ
とは悪いことばかりではなく、
昨年度から導入を開始したIC
Tを活用したオンラインでの業
務が進みました。会議は3密を
防ぐために人を集めることを減
らしてZOOMを使ったオンラ
イン会議に変えました。私自身
もほとんど移動をすることがな
くなり、デスクから様々な団体
の会議に出席でき、移動時間も
減って選択肢が増えたというメ
リットがありました。

発行
社会福祉法人 恵比寿会
フェローホームズ Fellow Homes

仲間の家・森の家・高松の家
フェローホームズデイサービスセンター
フェローホームズヘルプセンター
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ
フェローホームズアフタースクール
森の子ナーサリー（企業主導型保育所）
042-523-7601

フェローホームズ富士見相談センター
042-526-1353

羽衣地域福祉サービスセンター
フェローホームズ羽衣相談センター
立川市南部東はごろも地域包括支援センター
042-523-5612

森の子保育園
しばさきのいえ子育てひろば 042-538-0729
立川市柏第四学童保育所 042-512-7704
立川市高松第二学童保育所 042-537-8555
立川市砂川七番学童保育所 042-512-9703
立川市砂川七番学童保育所 042-537-7550

さて、恵比寿会は本年30周年
を迎えます。飛行場を持ち、空
襲で大被害を受けた「軍都」立
川は、戦後、米軍基地が置かれ、
1977年に日本へ全面返還さ
れました。今では立川は多摩地
域最大のターミナル駅になり、
北口の駅周辺基地跡地には

「ファール立川」が誕生、昨年
には「立川グリーンズプリング
ス」がオープンするなど開発が
進み、益々賑やかになっていま
す。全面返還された立川基地の
一角、国営昭和記念公園の南側
にフェローホームズは建設され
ました。返還されてから14年か
け、行政をはじめとするたくさ
んの方々のご尽力で1991年
に社会福祉法人恵比寿会設立、
翌年4月24日に特別養護老人
ホームフェローホームズが事業
開始いたしました。

それから30年、立川が発展す
るとともに地域の皆様と多くの
仲間のおかげで、今では立川市
内に15事業所、28事業を運営し、
スタッフ320名を超えるまで
になりました。

昨年、高齢事業では、ご利用
者の幸せな生活を願って「8つ
の基本ケア」を策定しました。
今までも実践してきたことです
が、明確にすることで、より
しっかりと共有できるのではな
いかと思っております。

子ども事業では、新たな拠点
づくりと、子どもたちを中心と
した環境づくりのための新事業
を計画しております。

今年は介護保険の改正の年
でもあります。しばらくは新型コ
ロナウイルス感染症と共存して
いかななくてはなりません。人
を「介」し、尊敬を「護る」こ
とが介護だと考え、個人の尊厳
を護り尊重し、皆様が自立して
生活できるように支援できるス
タッフ集団でありたいと思いま
す。「ひとつはすべてのためにす
べてはひとつのために」の法人
理念のもと、努力して参ります。
今年もご指導ご鞭撻をお願い
いたします。



2021年元旦
理事長
森山善弘



「〜したい」叶えたいことを
実現できる施設へ

仲間の家でも、ご利用者、ご家族への面会制限や外出制限、様々な活動や行事も自粛となり、ご不便、ご心配をおかけしております。

そのような中ではありますが、仲間の家では今年度「人となりを尊重し、一〇〇人一〇〇通りの叶えたいことを実現する」というビジョンの達成に向けて取り組んでおります。しかし、Withコロナで本来の「叶えたいこと」から変更せざるを得ない方々も多くいらっしゃいました。特にご家族と一緒に楽しむことについては、実現することが難しく、スタッフ全員が頭を悩ませました。何とかご利用者とご家族が繋がっていただけるように、それにはまず感染症への対策を徹底すること、そしてご家族へご利用者の笑顔をお届け

することが私たちのやるべきことなのではないかと考えました。

そこで4月から毎月、100名のご利用者の日常の様子ができる写真を送らせていただいております。皆様に満足いただけるまでには至らないかと思いますが、オンライン面会や電話の取り次ぎ、仲間の家広報誌「仲間の家便り」などで、ご利用者の様子をお伝えしてまいりました。ご家族からの励ましや労いのお言葉を数多く頂戴し、緊張感を続く日々を送るスタッフにとっては何よりの力になりました。心より感謝申し上げます。

ご利用者の日々の「〜したい」を実現すること、例えば「すっきり排泄したい」という意向を、多職種が協働し食事や水分量を見直し、体を動かす機会を生活の中に取り入れることを日課としています。ご利用

者の一番近くで関わる介護職がそのタイミングをキャッチし、トイレにお誘いする。そして排泄の自立に繋がることで、自信を取り戻し生活の中で役割をもてるようになる。ついには「家族と気兼ねなく外出したい」の実現へチャレンジできる、といったイメージです。ご利用者とご家族が幸福感を得られ、それを支援できたことでスタッフも喜びや達成感を得られ、自身の幸福感にも繋がります。

このような時だからこそ、一瞬の笑顔を見逃さず、その一瞬に心を込めて、「一〇〇人一〇〇通りの叶えたいこと」の実現を目指してまいります。



新 正美

フェローホームズ仲間の家
副施設長

恵比寿会30周年特集①

施設だより
第1号は恵比寿会開設から3年目の春に発行されました。



第1号の施設だよりの巻頭言で「Fellou (フェロー)」とは「仲間、友人」という意味、「Homes (ホーム)」は「家、住む場所」です。一人ひとりを大切に、そして、たくさん仲間と過ごす家という事で「Homes」に複数形の「S」をつけて「Fellou Homes」と施設名の由来を先代の森山勇理事長が語っています。

施設長や相談員からの事業にかける熱い思いのこもった記事の中に、ご利用者自身が書かれた日常の暮らしについての記事も見られました。クラブ活動で、体操、手芸、華道、書道と楽しんでる様子を紹介しています。

100号までの間に変わってしまったものもあれば、今でも変わらず続いているものもあります。本年の花だよりで、少しずつ振り返ってみてほしいと思います。

「高齢者が幸齢者になれる」家を目指して

皆様のご協力もあって、今のところスタッフも自己管理を徹底して、不要不急の外出を控え、新型コロナウイルスを施設に持ち込まないよう取り組んでいます。森の家・高松の家ではご利用者が幸せな高齢者になれる家⇨幸齢者になれる家を目指して、様々なことに取り組んでいます。

まず、一つ目は**排泄への取り組み**です。一般的に高齢者は便秘傾向にある方が多いので、下剤を使うことがあります。特に刺激性の物を使うと痛みを伴うのですが、便が詰まるとイレウスといい、命に関わる症状になってしまうこともあります。排泄には
①水分 ②食事量 ③運動が大事だと言われます。そこで、7日～10日間隔で専門職と現場の責任者が

集まり、ケアの状況を確認し、見直すべきか、そのまま継続するかといった検討を行うミーティングを続けています。

水分量を体重から割り出し、一日の必要量をチェックし、水分量が足りていないければ、好みを探ったり、量が確保できる時間を割り出したりします。

運動は日常の中で、動ける機会を作るために家具などの置き場を検討したり、運動の機会を検討したりします。

食事は毎食の摂取状況と場合によっては、メニューも見直して、検討します。

次は**ICT推進プロジェクト**です。これは、仲間の家とも共同で行っています。記録を紙からパソコンでの入力に変え、見守りのためのセンサーやスタッフの仕事におけるコミュニケーション促進のためのインカム使用など情報処理を効率

化することから、余剰の時間をご利用者の生活をその人らしくするための取り組みへ還元していくといったものです。

三つ目は、施設で均一のサービス⇨施設ケアではなく、**個別に特化したケア⇨その人らしさ**に取り組んでいます。

その人ごとにやりたいことは違います。例として、

①息子の作っている餃子が食べたい

②お洋服と化粧品を買いに行きたい

③身体を鍛えて、体重を落としたい などです。

基本的なケアから個別ケアまで一本に繋げていき、ご利用者のその人らしい生活の実現に努めてまいります。

フェローホームズ森の家・高松の家
副施設長



仲野 泰蔵

お題「健康の秘訣」



今年の年男年女
スタッフ編



□完璧を目指さない。なるべく外に出る事。冷やさない事。高橋瞳
□食べたい物を食べていっぱい寝る。徳原千純
□いつも通り無理せず生活している。腰痛体操をしている。中村敏子

□健康に過ぎず。家での毎朝の体温測定時に家族全員「平熱を確認し「今日も元気」と言う。井川浩輔

□96歳のお母さんのお世話をしてくれたい。岩沢よし江
□よくよくよいこと。小池文雄

□腹八分目（食べ過ぎない）。若い時の服をいつまでも着られるようサイズを維持する。山木好二

□仕事か休みの日はできるだけ散歩に出かけたりしたい。比留間裕子

□よく寝て、好き嫌がなくよく食べ、子ども、孫、ひ孫のために頑張ること。すべてが健康の源だと思っています。夫婦も仲良くね！

□自分の年齢にあった健康管理。遠山利子

□初心を忘れず、何事にも挑戦！ 鈴木真奈 清水瑞穂



フェローホームズ仲間の家

□特にないが、いつもの様に過ごすこと。伊原チエ子様96歳
□楽にする。好き嫌いしないのでなんでも食べる。

中野染子様96歳

□みんなに助けてもらう事。健康は大事！ 宮沢豊子様84歳

□体を休めて寝たり、ゆつくりしたりする事。運動をする事。

三田宏子様84歳

□いつも通りに生活する事。我慢しない事。世持幸子様84歳

□たくさん食べて無理せず生活する事。井上陽敬様84歳

□笑顔で過ごすこと。

立木富子様84歳

□たくさん食べて、お父さんと一緒に楽しく過ごす事。

加藤花子様84歳

□感謝すること。飯嶋みつ様84歳

□元気よく歩いて、よく食べて、よく寝ること。北村博子様84歳

よく寝ること。

北村博子様84歳

□良く食べて、良く飲んで、良く寝る事。芦田ツギ子様96歳

□何事にも挑戦する意欲が大事だね！ 木下安二様96歳

□良く食べることを、少しでも楽しく生きることを心がけています。

高嶋ミツ様96歳

□コロナに負けず、来年のオリンピックを元気に観ます。

村松豊子様96歳

□規則正しい生活と、デイに毎日通う事です。

山川セツ子様96歳

□ある職員のスタイルが良くないまでは健康でデイに来ないとね！ 宇田川かほり様84歳

□笑って色んな活動をしてみんなに会うことが秘訣です。

角川廣子様84歳

□人並みに歩けるようになって、立川駅でお買い物をする事が目標です。伊藤笑子様84歳

□良く動けるように、デイの体操にしっかりと参加しています。

松田忠子様84歳

□より楽しいデイに、活気溢れるデイに戻ることを願っています。

矢嶋和子様84歳

□麻雀で役満を上げることが目標です。中間道子様72歳

中間道子様72歳

ヘルプサービス

□思い悩まない事。小さい事でもよくよく悩まず前向きでいる事が健康に繋がる。そして子供たちのいう事をよく聞いて、穏やかに過ごす事。みんなよくみてくれているのでこうして生活して過ごして長生きさせてくれる。

染谷球子様84歳

□毎日少しずつ足を鍛えることを中心に運動を行っています。

小町幹夫様96歳

□毎日信心を忘れずにいること。

岩尾肥子様84歳

□飼っているワンちゃんに負けない様に生活する！（セントバーナードを飼っています）

作山時子様84歳

□散歩を毎日していること。

竹内容子様84歳

□よく食べて、良く寝ることで

山口徳様84歳

□家族に美味しいものをたくさん作って食べさせてあげること。何でも自分で作ること。

大塚恵美子様96歳

□妻の作る美味しい料理を食べ続けていくこと。

大塚恭平様96歳

□減らず口を言う。嫌味を言う。ストレスを溜めないのが長生きの秘訣。あとは食欲。

廣原肇様84歳

□流水の如く生きる。（仕事を続け、俳句と囲碁を楽しんでいます）

中村信様84歳

□良く働くことが長生きの秘訣。健康でいることが健康の秘訣。

新井眞智子様84歳

□コロナに感染せず、転倒しない様に動けるようになることです。

藤原博子様84歳

□奥様のおかげで長生きできています。ありがとうございます。

八下田金次様84歳

□長寿の秘訣は美食をしないこと。肉はあまり好きではない。丑年で共喰いになるので。

池添智子様84歳

□皆様の協力をいただきつつ、健康に留意しリハビリを頑張る、妻と散歩ができるようになります。その上で令和3年の運転免許の更新をクリアしたい。

白橋芳雄様72歳

□いつまでも歩けるように、一生懸命歩くようにしている。

三上芳子様72歳

□コロナでも自宅でできる楽しみを見つけられている。3000ピースのパズルにも挑戦した。健康の秘訣は前向きに、今できる事をやること。

中村きく枝様72歳

□毎日、一つでもいいから何か希望をもっていたいという心がけている。

金澤聡子様60歳

羽衣地域福祉サービスセンター

□毎日少しずつ足を鍛えることを中心に運動を行っています。

小町幹夫様96歳

□毎日信心を忘れずにいること。

岩尾肥子様84歳

□飼っているワンちゃんに負けない様に生活する！（セントバーナードを飼っています）

作山時子様84歳

□散歩を毎日していること。

竹内容子様84歳

□よく食べて、良く寝ることで

山口徳様84歳

□家族に美味しいものをたくさん作って食べさせてあげること。何でも自分で作ること。

大塚恵美子様96歳

□妻の作る美味しい料理を食べ続けていくこと。

大塚恭平様96歳

□減らず口を言う。嫌味を言う。ストレスを溜めないのが長生きの秘訣。あとは食欲。

廣原肇様84歳

□流水の如く生きる。（仕事を続け、俳句と囲碁を楽しんでいます）

中村信様84歳

□良く働くことが長生きの秘訣。健康でいることが健康の秘訣。

新井眞智子様84歳

□コロナに感染せず、転倒しない様に動けるようになることです。

藤原博子様84歳

□奥様のおかげで長生きできています。ありがとうございます。

八下田金次様84歳

□長寿の秘訣は美食をしないこと。肉はあまり好きではない。丑年で共喰いになるので。

池添智子様84歳

□皆様の協力をいただきつつ、健康に留意しリハビリを頑張る、妻と散歩ができるようになります。その上で令和3年の運転免許の更新をクリアしたい。

白橋芳雄様72歳

□いつまでも歩けるように、一生懸命歩くようにしている。

三上芳子様72歳

□コロナでも自宅でできる楽しみを見つけられている。3000ピースのパズルにも挑戦した。健康の秘訣は前向きに、今できる事をやること。

中村きく枝様72歳

□毎日、一つでもいいから何か希望をもっていたいという心がけている。

金澤聡子様60歳